

事業概要【公共交通の充実強化事業（自動運転バス社会実装）】

申請者	広島県広島市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	319,210千円 (50,810千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<p>・昨今の運転者不足によってバス路線の維持が困難になっていることへの対応や、高齢者等の移動手段確保のために、官民で連携し、安佐北区の可部地域の可部循環線において自動運転に取り組む。</p>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 今年度は、R9年度の自動運転レベル4の運行に向けた技術的課題の洗い出し（手動介入が必要となる箇所・場面の把握とその解消のための車両・システム改善の検討等）を目的とした実証実験を自動運転レベル2で実施する。 R8年度においては、技術的課題について対策を行った上で、次年度の自動運転レベル4の運行に向け、引き続き実証実験によるデータ取得やシステム等の調整を行い、R9年度においては、自動運転レベル4の運行実現を目指す。</p> <p>【ソフト事業経費】 自動運転レベル2で実証実験を行うために必要な経費 ・実証実験の実施に必要な車両のリースや運行に係るマネジメント等の費用 38,660千円 ・安全な運行を確保するために車両の走行位置などの現況把握に必要なとなる運行ルートの3D地図データ作成費用 6,600千円 ・実証実験後にデータ分析等を行うための費用 5,550千円</p>				<p>可部循環線</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>○(一社)バス協調・共創プラットフォームひろしま：自動運転レベル4の運行実現に向けた取組の推進 ○バス事業者：実証実験の実施 ○損害保険会社：リスクアセスメント・保険に係るサポート ○連合町内会など：関係者で組織する地域コミッティへの参画</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①対象地域の人口 (-102人) ②公共交通の利用者数 (+60人/日)</p>